先輩に聞きました！ ～就職活動生のための職場訪問～

山陽新聞 THE SANYO SHIMBUN 2019 就活DASH!

おかやま信用金庫

入庫の動機

井須　岡山県で生まれ育ち、大学も県内。自然と「就職先は地元企業」と考えていました。企業研究をする中、「当金庫の掲げる「地域密着」が自分の求める企業像、働くイメージと一致。経済や金融の知識がほとんどなかったのが一番の気がかりでしたが、人事担当者から「入庫前研修で金融についての基本は学べる。入庫後のスキルアップ研修も充実しており、全く心配はいらない」と説明を受け、入庫を決めました。

石井　私も地元就職を第一に就職活動をしました。当金庫を就職先に決めたのは基本的に人と接する仕事で、厳しいことは多々あっても仕事を通じて自分も成長できると思ったからです。祖父母や両親はよく当金庫のことを「おかしんさん」と呼び、子どものころから親しみのある金融機関だったことも入庫への弾みになりました。大学で介護を勉強し、相手の立場に立ってニーズを聞き取る技術を学んだことは現在の仕事に役立っています。

津島支店
石井　愛乃さん(24)＝川崎医療福祉大学医療福祉学部卒

西奉還町支店
井須　雄太さん(25)＝岡山県立大学情報工学部卒

仕事内容

井須　入庫して西奉還町支店に配属となり、1年目は窓口で預金業務、2年目は融資業務を担当し、3年目から渉外業務となりました。企業、個人のお客様を毎日バイクで訪問し、集金のほか、融資の相談、資産形成に向けた金融商品の提案などをしています。受け持つお客様の数は企業、個人合わせて約300に上ります。企業の社長や役員の方、個人のお客様の顔と名前はすべて頭に入れています。訪問先の用事が済んでもすぐに帰らず、仕事以外の世間話をしたりして、人間関係を深めています。

石井　窓口での入出金や振込などを中心に、相談・提案業務を行っています。窓口には毎日、多くのお客様がご来店されますが、お一人お一人目的は違います。それぞれの悩みに耳を傾け、必要なら専門の担当者に引き継ぎ、時間がかからないように気を付けています。忘れてならないのは笑顔。津島支店のエリアは大学が多く、教員や学生の方など新生度ごとに新たなお客様がたくさんご来店されます。そのお客様にとっては窓口で初めて接する職員の対応が当金庫のイメージを決めます。笑顔で、お客様の目を見ながらの接客を心掛けています。

営用のバイクで元気に渉外活動に出発する井須さん。安全運転がモットー

金融で元気な地域づくり

働きやすい制度が充実　石井

金融サービスを顧客に案内する石井さん。笑顔の接客を心掛ける

働きがい 将来の夢

井須　提案した融資が実り、お客様の事業が発展するときはやりがいを感じます。お客様から寄せられるいろいろな相談も私への信頼の裏付けで、喜びでもあります。ただ、相談の中には入庫3年目の自分の力に余る難しい案件もあります。そうしたときは一人で悩まず上司や同僚に相談。皆が親身に解決策を探ってくれます。職場全体で仕事を進める気風があり、働きやすい職場につながっています。お客様へのさらなる貢献のため、より高度な財務と税務の銀行業務検定に挑戦して自分自身のスキルを向上させ、将来は中小企業診断士の資格を取りたいと思っています。

石井　うれしいのは、お客様からいただく「ありがとう」の言葉です。お役に立った、と実感できます。窓口担当として2年がたち、お客様から名前で呼ばれるようになりました。これもうれしいことです。窓口ではお客様からいろいろな質問を受けます。充実した研修のおかげで金融や経済の知識も増え、最初はドギマギしていた受け答えも低姿勢にできるようになりました。各種の金融サービスをより詳しく説明して、お客様第一主義を実践するために税務、財務、年金の銀行業務資格取得を目指しています。

アドバイス

井須　金融は大きな責任を伴いますが、やりがいのある仕事です。当金庫は地域の中小事業者と個人の皆様を豊かにし、元気のある地域をつくっていきます。岡山への熱い思いを当金庫で実現しましょう。

石井　一般的な金融機関のイメージと違い、とても風通しの良い組織風土です。各種の休暇制度が整い、フレックスタイム制も導入。とりわけ女性が働きやすい職場です。ぜひ一緒に働きましょう。

おかやま信用金庫本店

おかやま信用金庫
岡山市北区柳町1-11-21
TEL 086(223)7491
http://www.shinkin.co.jp/okayama

出資金　18億4700万円／預金積金　4850億900万円（2017年3月期）／職員数　571人（うち女性193人）／事業内容　信用金庫法に基づく金融業務全般（預金業務、融資業務、為替業務、相談業務）／事業所　岡山市30店舗、倉敷市2店舗、玉野市4店舗／採用実績　28人（2018年予定）

井須さんのある1日のスケジュール

6:00　起床。朝食をとりながら新聞に目を通す
7:00　電車通勤
8:00　出勤。1日のスケジュール確認
8:45　朝礼、業務連絡事項を聞く
9:00　バイクで外回りに出発（午前は10～15軒訪問）
12:00　支店に帰り休憩、昼食（食堂で弁当）
13:00　バイクで外回りに出発（午後も10～15軒訪問）
16:00　支店に帰り、顧客からの預金を預金担当者に渡し、新規融資の稟議書を作成した後、翌日の渉外活動のスケジュールを立てる
18:30　退庁
20:00　帰宅。金融関係の資格取得に向けての勉強、趣味の雑誌を読んだ後、入浴
23:00　就寝

採用担当者から一言

総務部課長代理　中　亮平さん

若い力で地域に活力

当金庫は、岡山県南部を主な営業エリアとし、個人や中小事業者のお客様が互いに地域の繁栄を図る相互扶助を目的とした協同組織金融機関で、今年創立105周年を迎えます。

「いつも、あなたと。」をモットーに「“おかやま”で一番身近な」「“おかやま”とともに成長する」金融機関として地域の皆様にご認識していただけるよう、努力を惜しまず、安心感を与えることで地域と共存・共栄しています。

仕事は“Face to Face”を大切にし、笑顔でお客様と向き合い、家族のような信頼関係が構築できます。お客様のために考え、行動し、経験することは岡山の地域経済に活力を与えるだけでなく、自身の「人間力」も成長し、やりがいや達成感を経験することにもつながります。

就職活動では、自らの成長で岡山に活力を与えたいと思っている皆様との出会いを楽しみにしています。

㈱小倉組

工事部住宅工事課
森平　有香さん(24)
川崎医療福祉大学医療福祉マネジメント学部卒

幅広く経験積める職場

―入社の動機は。

大学の専攻は医療福祉デザイン学科の建築コース。学んだことが直接仕事で生かせる建築関連の会社を志望していました。ハウスメーカーや地元工務店などを回り、数社を受験したのですが思うようにいかず、少し挫けの気持ちが芽生え始めていたころに当社の社員募集を知りました。調べると公共施設のほか学校や医療施設、ビル、マンション、個人住宅まで手掛け、地域で実績を重ねている印象とネコンと分かり、技術者として幅広い経験ができると考えて受験しました。面接で社長が社是に触れ、「人と人、人と社会、人と環境それぞれの接点を創造するのが仕事の基本」と熱く話されたのも決め手になりました。

―仕事の内容を教えてください。

入社後は工事部建築課に配属、道具類の名前を覚えることから始まり、図面の見方、お客様との打ち合わせ、電気や水道などの水回り、窓や外壁などと数多くの協力会社の人たちとの折衝…と最初は戸惑いの連続でした。2年間のこの訓練期間を終えて昨春から住宅工事課に異動。

―仕事のやりがいを感じるときは。

新築の場合なら設計事務所から回ってきた設計図を基に施工図を作り、工程、予算、品質の管理に当たります。改修の場合も同じですが、障害物のない動線づくりやお年寄りが使いやすい家具類の配置など大学で学んだ私ならのアイデアを生かしています。

―就活生へのアドバイスを。

私は業種ともいえる仕事に巡り合いましたが、これも当初の志望を変えずに就活を続けたからだと思います。本当にやりたい仕事を探し見つけて、それにまい進してください。

現場で工事の進行を打ち合わせする森平さん

会社概要

所在地　岡山市中区赤田185
電話番号　086-272-5196
ホームページ　http://www.oguragumi.co.jp
資本金　5000万円
売上高　45億円（2017年10月期）
社員数　50人（うち女性8人）
事業内容　総合建設業
事業所　本社、各現場（岡山県南、神奈川県横須賀市など）
採用実績　1人（2017年）